

法定協議会移行後(次回会議以降)の検討・協議の進め方(案)

これまでの検討会議(第1～4回)までの協議内容確認

・課題・目指す姿・必要な交通機能、判断・選択に必要な基準等の再確認

判断・選択の際に基準となる視点・論点ごとに交通モードを比較(資料1参照)

・必要な機能の確保、利便性向上可能な部分の比較

・モードごとの実現可能性(大系線の環境における安定性や課題等)を確認

・モードごとの持続可能性(大まかな費用感)の確認 ほか

比較検討を基に
有力な実現手段となる
交通モードを絞り込み

有力な交通モードにより目指す姿を実現する具体案の検討

絞り込んだモードごとに、以下の要素を盛り込んだルート・停留所等の
絵図や具体的な費用精査を含む実現案を作成

- 運行本数・ダイヤ
- 二次交通・新幹線との接続イメージ
- ルート・停留所
- 必要な設備整備
- イニシャルコストの精査
- ランニングコストの精査
- 事業主体・運行主体

大系線の目指す姿を実現
する交通体系について
方向性を決定

目指す姿を実現する具体案について住民意見聴取の検討

住民説明会・タウンミーティング・アンケートなどについて沿線自治
体を中心に内容を検討・実施

地域公共交通計画及び
実施計画等の必要性を判断